



# 2050年ゼロ達成に向けて



2050 CO<sub>2</sub>排出量正味ゼロ

2030 温室効果ガス▲46%を目指す（2013年度比）

ライフスタイル



ビジネス

4つの転換

エネルギー



モビリティ

1997  
COP3で京都議定書が採択される

2004  
全国で初めて  
「京都市地球温暖化対策条例」を制定

2019  
全国に先駆けて  
「2050年CO<sub>2</sub>排出量正味ゼロ」表明

2021  
京都市地球温暖化対策計画  
〈2021-2030〉策定

**2050ゼロに向けて取り組む！**

# ライフスタイルの転換に向けた取組例

## ① 「こどもエコライフチャレンジ」の実施

小学校の授業で学習会を実施

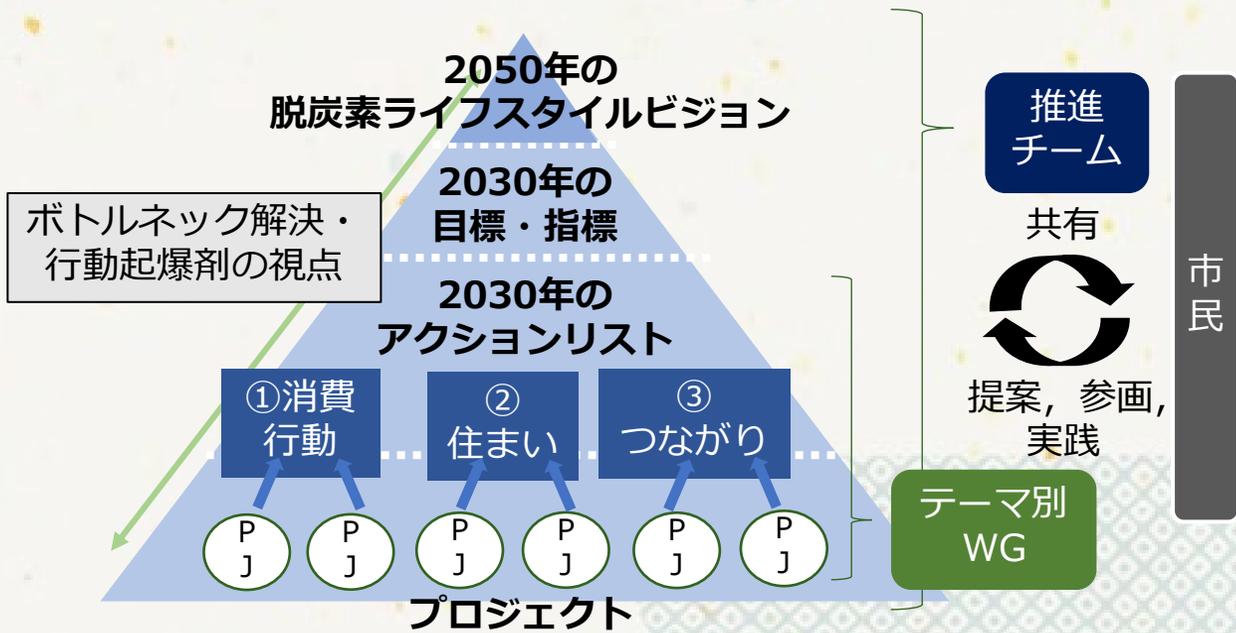
→冊子を使って、夏休み又は冬休みに  
家族そろってエコライフを実践



マレーシアでも  
2012年から実施!



## ② 「京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム ～京創ミーティング～」の発足



# 京都市が加盟する国際ネットワーク組織，参加するプロジェクト



市長が日本運営委員会の委員長を務める



エレン・マッカーサー財団が主導する「フード・イニシアティブ」に国内の自治体として初めて加盟



2021年 日本初の脱石炭連盟（PPCA）メンバーとなる



市長がイクレイ東アジア地域の議長を務める



EU主催の国際都市地域間協カプロジェクトにおいて姉妹都市であるチェコ・プラハ市とペアを組み，参加

国際ネットワーク組織での活動を通じて…

- 本市の取組を広く発信するとともに，世界の都市の先進的な取組を互いに共有できる。
- 同じく首長誓約に署名する29自治体などの国内地方政府同士でネットワークづくりができる。
- 日々進化する世界の流れを掴み，世界的な視野で政策決定を行うことができる。